

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年12月24日

No.38

校長 坂野修一

## 2学期終業式！ 有意義な冬休みを！

山々に雪が残るホワイトクリスマスになりましたね。本日24日、2学期の終業式を無事に終えました。幸いにも、大雨の交通規制による臨時休業なども今年はなく、2学期は80日という授業日数を子どもたちは元気に過ごすことができました。残暑の中の運動会も、そして、49年目を迎えた吹奏楽活動の最大の発表の場であるバンドフェスティバルにも、まさに今年の流行語大賞のとおり「ONE TEAM」で取り組んだ早川南小学校でした。頑張った子どもたちには、明日からの冬休みも有意義に過ごしてほしい、終業式では、今年も以下の話をしました。



### ①新しい目標

「一年の計は元旦にあり」の言葉どおり、新年を迎えるにあたり「新たな目標」を立てましょう。

### ②家の手伝い

年末は、どのご家庭でも大掃除や正月の準備で忙しいことでしょう。家族の一員として、家の手伝いをしましょう。

### ③早寝・早起き・朝ごはん

冬休みは生活のリズムが崩れやすくなります。大晦日以外は、規則正しく過ごしましょう。

### ④テレビゲーム・スマホゲーム・インターネット・SNS

時間を決めて遊びましょう。そして、インターネットトラブルに巻き込まれないようにしてください。

その冬休みですが、同じ「休み」でも、冬休みと夏休みはどこが違うのでしょうか？子どもたちに聞けば、「冬休みは短い」「宿題が夏休みより少ない」「お年玉がもらえる」…などと答えるでしょう。では、保護者の皆さまはどう答えますか？「子どもたちが休みなだけで、何も変わらない」「大人も家にいることが多い」…と答えますか？

私は、「夏休みは子ども中心。冬休みは大人中心。」と答えます。夏休みは、子どもの予定と重ならないようにしながら家族の計画が決まります。本校でいえば、バンドフェスティバルの練習やプール開放日を避け、スポ少や習い事のスケジュールを考慮しながら、家族の予定が入ってきますね。しかし冬休みは、子どもが大人に合わせるが多くなってきます。大掃除、年末年始のご挨拶、初詣、新年会…です。こうした時だからこそ、「世間」や「しきたり」を、そして「我が家の習わし」を「教える」チャンスです。大掃除や正月飾り、餅つきなど、子どもたちに積極的に手伝わせてください。単なる「労力」としてだけでなく、「我が家のならわし」を伝えるために大切なのです。初詣や地域の拝賀式にも出かけ、「世間」や「しきたり」を知ることも、冬休みだからこそできる学びの場です。

私が山梨の教員になって今年が33年目。ちょうどその年の1月が初出場だった山梨学院大学が、今年箱根駅伝に出られません。連続出場記録が33年間で途切れてしまいました。オツオリ選手(故人)、ステファン・マヤカ選手にモグス選手など、外国人留学生の激走に興奮した正月のお楽しみがないのが残念ですが、きっと今年は2回勝って正月を花園で迎える母校日川高校のラグビーや、新国立競技場のこけら落としとなる天皇杯サッカー決勝を楽しみながら、我が家流のお正月を過ごしたいと思います。保護者のみなさまも、お体にはくれぐれも気を付け、良いお年をお迎えください…。